



## 1月7日「2021年3月ダイヤ改正等について」提案を受けました

■ダイヤ改正日 **令和3年3月13日**

■主な輸送改善項目

【新幹線】

上野～大宮間の所要時間短縮／「とき」「たにがわ」にE7系を追加投入

【在来線】

東海道線 特急「踊り子」E257系リニューアル車両に統一／特急「湘南」の新設／新たな着席サービスの導入

宇都宮・高崎線 上野東京ラインの運行時間帯拡大

常磐線（各駅停車）ATO使用開始及びホームドア設置による表定時分見直し／土休日の我孫子～取手間運転取りやめ

相鉄JR直通線 埼京・川越線との直通運転を拡大

首都圏各線区 東京100km圏の主要路線での終電時刻の繰り下げ（一部路線では、初電時刻の繰り下げを実施）

### 提案時議論の特徴点は以下の通りです

- 今回の提案では「運転士」「車掌」といった担務での標準数ではなく、「乗務職」としての「合算した標準数」が示されました。
- 就業規則第48条別表第1に定める「乗務主務、乗務主任、乗務指導係、乗務係」について「各業務に関する必要な教育を行っ  
たうえで、順次、担当業務間の相互運用を行う。」旨の説明を受けました。

（標準数について）

[会社] これまでは担務（運転士・車掌）で示してきたが、就業規則の改正に伴い「乗務職」となったので「運転士」「車掌」ごとの標準数は示さず、業務量総体として「乗務職」で示している。

[組合] 運転士・車掌の内訳で示されないと数字がわかりづらい。様々な観点で昨年との比較が出来ない。それぞれの担務ごとでは示せないのか。

[会社] 昨年の4月からそのような管理をしているため示せない。

（相互運用について）

[組合] 相互運用について、現状どのように考えているのか。

[会社] 改正した就業規則（乗務職）に基づき、運転士の車掌業務や、動力車操縦者免許を所持した車掌が必要な教育を行ったのちに運転士の業務を行う。  
生産性の向上・働き方改革・働きがいの向上を通じた多様な経験を生かし、社員の成長につなげてほしい。

（標準数の減が大きい区所について）

[組合] 上野運転区・上野車掌区・大崎運輸区の標準数減が大きい理由は何か。

[会社] 各線区の輸送力の適正化により「日中帯の上野駅始発列車の廃止・運用数減にともなう入換本数の減・尾久構内の電車入換業務の見直し」などによるものである。

（東海道線の新たな着席サービスについて）

[組合] これまで導入の線区と違っていきなり本運用なのか。

[会社] 今回の東海道線で三線区目である。多くの方が事前購入されており順調に推移している。繁忙期については区所ごとの判断で増乗務できる。

「不安解消」と「安全・健康・ゆとり・働きがい」の確保を目指し

職場のみなさんと共に「ダイヤ改正」の議論をつくり出します！！